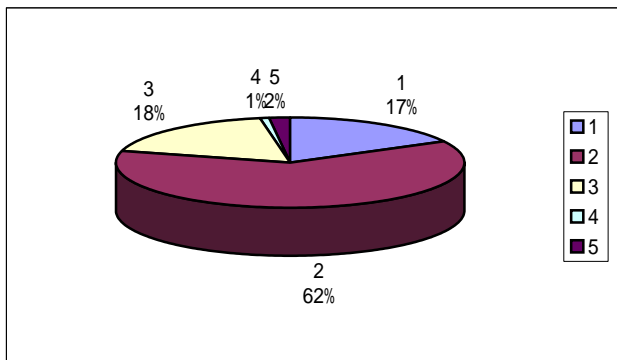


平成20年度 後期 学校アンケート

NO.1 考えて表現できる子どもに育ってきている

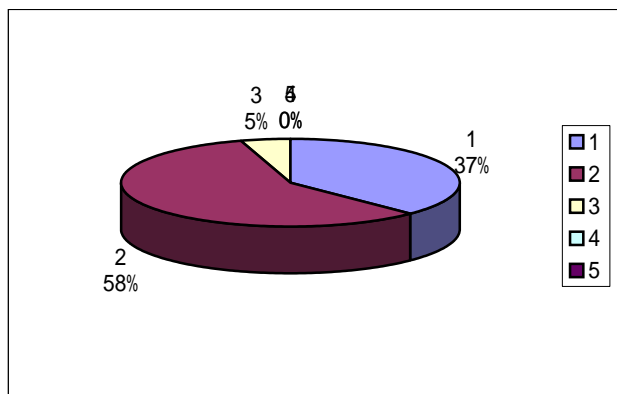
学年	A	B	C	D	E	合計
1年	7	18	6	0	0	31
2年	7	24	10	0	2	43
3年	8	26	10	1	1	46
4年	6	27	3	0	1	37
5年	8	37	11	1	0	57
6年	9	29	7	0	1	46
合計	45	161	47	2	5	260
割合(%)	17%	62%	18%	1%	2%	100%
20年前期	14%	65%	18%	0%	2%	99%



* 全体的には変化なし。
前期同様学年によって、傾向がある。
4年生はCの割合が低く、A・Bの割合が高く目指す子ども像に育ってきているのが分かる。
後期の残り、授業の中で考え表現する子を目指し取り組んでいきたい。

NO.2 友達や命あるものに思いやりの気持ちをもって接している

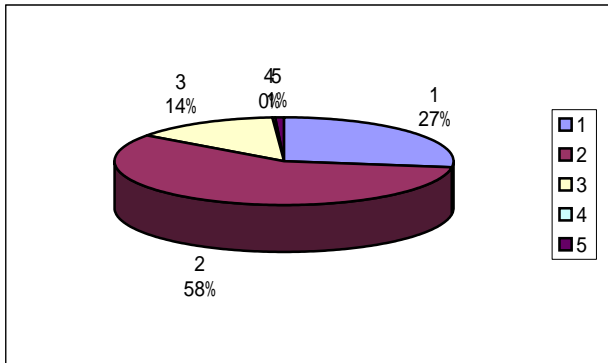
学年	A	B	C	D	E	合計
1年	14	17	0	0	0	31
2年	16	26	0	0	0	43
3年	14	28	4	0	0	46
4年	14	21	2	0	0	37
5年	20	34	3	0	0	57
6年	19	24	3	0	0	46
合計	97	150	12	0	0	260
割合(%)	37%	58%	5%	0%	0%	100%
20年前期	36%	57%	6%	0%	1%	100%



* 前期と同様、AとBの割合を合わせると高い割合になる。
今年度は、縦割り活動で中間休みの遊びを加えて、縦割りの学年で思いやりの気持ちを育てることに積極的に取り組んでいた。

NO.3 . 自分のめあてをもってがんばろうとしている

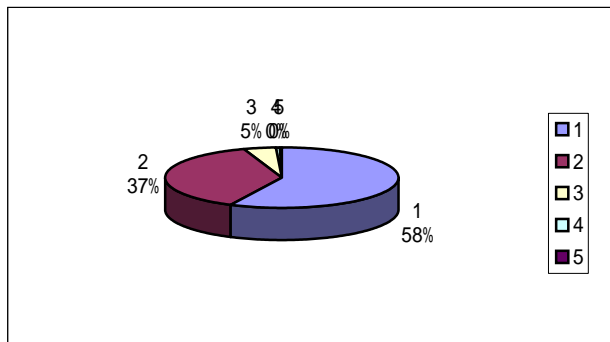
学年	A	B	C	D	E	合計
1年	9	19	3	0	0	31
2年	14	22	6	0	1	43
3年	10	26	8	1	1	46
4年	12	20	5	0	0	37
5年	16	32	9	0	0	57
6年	10	31	5	0	0	46
合計	71	150	36	1	2	260
割合(%)	27%	58%	14%	0%	1%	100%
20年前期	22%	61%	14%	1%	2%	100%



* 後期になりややAの割合が増えている。
自分のためためあてや目標を振り返る場面をつくり、来年度のめあてるようにしていく。

NO.4 楽しく学校生活を送っている

学年	A	B	C	D	E	合計
1年	18	11	2	0	0	31
2年	34	8	1	0	0	43
3年	19	23	3	0	1	46
4年	21	16	0	0	0	37
5年	36	16	4	1	0	57
6年	21	23	2	0	0	46
合計	149	97	12	1	1	260
割合(%)	57%	37%	5%	0%	0%	100%
20年前期	55%	42%	3%	0%	0%	100%

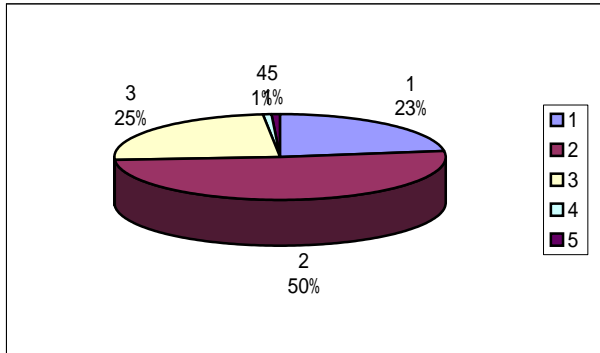


* いつもA・Bの(特にAの)割合が高い。引き続き楽しい学校生活を送れるよう、取組を進めていきたい。

NO.5 すすんで挨拶している

学年	A	B	C	D	E	合計
----	---	---	---	---	---	----

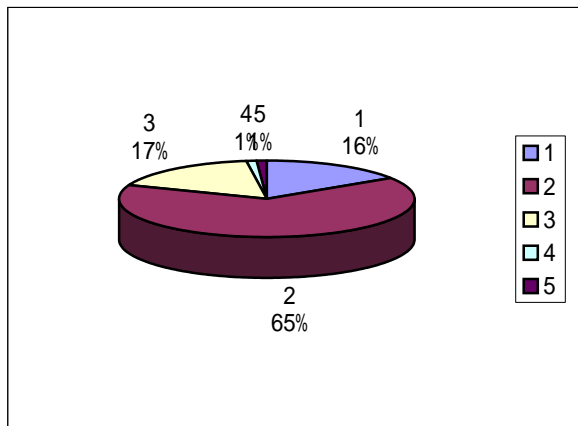
1年	7	10	14	0	0	31
2年	13	23	7	0	0	43
3年	8	24	12	1	1	46
4年	9	20	7	1	0	37
5年	10	30	17	0	0	57
6年	12	26	7	0	1	46
合計	59	133	64	2	2	260
割合(%)	23%	51%	25%	1%	1%	100%
20年前期	23%	55%	18%	2%	2%	100%



* 前期に比べると、Bが減り、Cの割合が増えている。なかなか本校の児童は挨拶が定着できないことが課題となっているのが分かる。引き続き挨拶ができるように、教職員の方から気持ちよく挨拶できるよう声をかけていきたい。

NO6 . 意欲的に学習し、基礎・基本の学力を身に付けてきている。

学年	A	B	C	D	E	合計
1年	7	20	3	0	1	31
2年	10	27	5	1	0	43
3年	4	32	8	2	0	46
4年	7	26	3	0	1	37
5年	7	37	12	0	1	57
6年	6	27	13	0	0	46
合計	41	169	44	3	3	260
割合(%)	16%	65%	17%	1%	1%	100%
20年前期	22%	55%	22%	1%	0%	100%



* 学年の特色を分析すると、1・4年生は基礎・基本の学力を身につけているという保護者が多い。高学年になるとCの割合が多くなってくるとは学習内容が難しくなっているのに対し理解が十分でないと考えられる。引き続き、研究教科の算数・理科を中心に学力をつけ、他の教科に広がっていくようにしたい。